伊賀の里山森林体験 in 上野森林公園

ねらい

・森の楽しさや森のしくみ、はたらきなど森の大切さに気付く。
・ネイチャークラフト作りを通して、自然素材を活かした物づくりが出来ること、楽しさ、素材感などを体験する。

【伊賀市立友生（ともの）小学校】

1回目は10月に実施し、森で遊び、ワクワクドキドキを感じられる活動を行いました。3班に分かれて、園内の里山に設けた３つのポイントをサバイバルクイズを解きながら散策し、危険な動植物や危険回避方法、食べられるものとそうでないものなどを遊びながら学びました。また、伊賀には湿地特有の希少な動植物が存在することも学びました。

2回目は11月に実施しました。園内でドングリに注目しながらの自然観察と里山の森観察を行い、その後、室内で里山の話を聞きました。子どもたちは、森のしくみやはたらき、里山とはどういった森なのかを理解することが出来ました。
ネイチャークラフト作りでは、ネジキのペンダントを作り、ネジキという一つの里山の木を通して、今までの里山の変遷とこれからの里山の大切さを理解することが出来ました。

プログラム概要

内容	1回目：里山散策 2回目：里山散策 ネイチャークラフト作り
時間	1回目：2時間 2回目：3時間
場所	三重県上野森林公園
対象	1回目：5年生　103人 2回目：5年生　101人
講師	森のせんせい：三重県上野森林公園
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「伊賀の森っこ育成推進事業」

里山の森や土を観察しました。

7種類のドングリを集めてドングリ箱を作りました。また、ドングリの種類についてのお話も聞き、ドングリに興味津々、種類の多さにびっくり。

マツの年輪を数えたり、マツ枯れのお話を聞いたりしました。キノコについてのお話も聞きました。

里山についてのお話を聞きました。

ネジキのペンダントづくりをしました。ネジキについてのお話も聞きました。